

## B-12 ポリエステル繊維の洗浄に関する研究

花王石鹼(株)家庭品研 掛川 貞夫

1. ポリエステル繊維の洗浄性がモメンと比較してわるいことが一般に知られている。その理由はポリエステル繊維がソ水性であるためと考えられる。二三のヨゴレについて比較的マクロ的領域の検討を行ない洗浄方法の知見をえようとした。

2. 油溶性固体ヨゴレ(スダンⅢ), 不溶性固体ヨゴレ(カーボン, ドロ)について洗浄試験を行ない, またパラ

フィン包埋法，キルクーPVAC 法による光学顕微鏡観察をも行なった。

### 3. (1) スダンⅢ

不溶性固体ヨゴレに比べてスダンⅢは可成り落ちにくい。これは繊維とヨゴレの親和性の相違によるためと考えられる。またスダンⅢは60°C以上で染色され，単繊維内部に拡散する。これは水洗浄では落ちにくい。

### (2) スダンⅢ+油性物質

ポリエステル繊維に油性物質が付着していると，スダンⅢは糸（織物）奥部へ侵入し，洗浄性は低下する。

### (3) 不溶性固体ヨゴレ

糸（織物）の表面に付着しているのと，奥部に侵入しているのでは後者の方が洗浄性が低下する。しかしモメンより著しくない。これは単繊維の形態によるものと考えられる。

### (4) 経時的洗浄性の変化

スダンⅢは経時的に洗浄性が低下するが，カーボン，ドロでは殆んど変化しない。